

E Z - W I N総合評価シート2020.10.25 京都11R G1菊花賞 芝3000m外 15:40

枠番	馬番	馬名	性別	年齢	負担重量	予想人気	調教Gメン印	調教偏差値A	パターン評価☆	中間調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	レシビ	得意馬場	最高補正指数	RP指数好走レンジ	RPアベレージ	総合評価点数	
	1	1	ディアマンミノル	牡	3	57	15				7,2	3,1	9,6	4		0					重め	99	48.9	59.9	55.2	7
	1	2	ガロアクリーク	牡	3	57	8				3,4	7,5	11,3	0		21	\$					112	49.3	63.6	56.2	21
◎	2	3	コントレイル	牡	3	57	1	○	△		8,2	4,1	11,1	60		100	\$				軽い	119	49.8	56.7	54.0	41
	2	4	マンオブスピリット	牡	3	57	10				18,4	18,12	10,1	17		21						107	48.9	54.5	52.5	9
☆	3	5	サトノインプレッサ	牡	3	57	9	★			10,7	11,4	17,9	20		21					標準	111	49.0	56.7	54.1	18
×	3	6	ヴェルトライゼンデ	牡	3	57	2				15,1	4,8	8,9	50		25						113	49.8	60.1	54.6	16
☆	4	7	ダノンブロワー	牡	3	57	11				7,1	2,1	4,2	19		25				昇		99	49.3	61.4	56.5	21
	4	8	ディーブوند	牡	3	57	7	△	C	△	2,8	3,13	5,2	22		21					軽い	111	48.9	57.4	53.1	18
×	5	9	アリストテレス	牡	3	57	4				2,3	5,2	5,6	44		25	\$			昇		102	46.9	56.7	53.4	23
×	5	10	サトノフラッグ	牡	3	57	6				7,1	15,8	9,10	32		25					重め	113	49.3	53.5	51.8	15
	6	11	バビット	牡	3	57	3	◎		△	1,4	1,1	1,6	0		25					標準	116	49.3	59.5	52.3	21
★	6	12	レクセランス	牡	3	57	12	注			14,7	16,5	14,6	20		21						107	53.5	56.7	55.3	11
○	7	13	ロバートソッキー	牡	3	57	13		D	△	13,3	8,1	11,1	17		21					ドライ	113	49.8	53.7	52	19
▲	7	14	ヴァルコス	牡	3	57	5	▲			9,1	4,15	12,3	36		25		\$			標準	114	52	54.4	53.4	26
×	7	15	ブラックホール	牡	3	57	14	注			8,6	14,2	17,3	17		0						103	48	54.6	51.2	18
	8	16	ターキッシュパレス	牡	3	57	17				8,4	4,2	7,5	0		0					重い	110	48.6	52.3	50.5	9
	8	17	キメラヴェリテ	牡	3	57	18		△		1,13	10,14	1,18	5		0						96	53.6	53.6	53.6	8
	8	18	ビターエンダー	牡	3	57	16				5,13	11,5	3,2	4		0						100	59	59.8	59.4	10

土曜日の京都外回りコースは、馬場の回復が進むにつれて
徐々に欧州色が薄くなって、6R で10人気4着に好走したのは
ディープ×米国型ハイロー系という配合馬でございました。

コントレイルにとっては願ってもない傾向で、
バビットの刻むであろう速いペースに巻き込まれて
先行しない限りは、三冠達成への視界は広がってきた
と言う事でございましょうか。

体型的にコントレイルにはは 3000mは長い印象でございますが
回復が進みそうな馬場と、これまでのレース内容から
世代では余りにも抜けた存在であることを思いますと
中団以降でしっかりと脚を溜めれば、「やっぱり強かったなあ」
という結果になりそうだと考えます。

ディープ×米国型の配合馬であるため
休み明け2走目の反動は気がかりではあるものの
前走は余裕残しの大楽勝で、過剰な心配は無用かと。

コントレイルの扱いにつきましては
今日の前半戦の血統傾向と上り時計の掛かり具合を
確認した後で決定いたしますれば、
最終結論は13時頃の配信となります事を
ご了承くださいませ(*_*)

その他の馬につきましては、
さほど差のないメンバーレベルでございますれば
体型的に 3000mが有利になりそうな馬を
上位に取り上げて参る所存。

無論、血統も重視した上で、
該当馬は馬名を赤文字で表記しておきます。

午前中の芝戦では、ほぼ標準に近い「気持ち少しだけ重い」レベルの馬場。

血統的な面では、1600m内は母系にスピード系米国血統を持つ馬が好走。

1400m内では、母系にダンチヒ系、欧州ナスルーラ系が穴をあけていましたな。

どちらも内回りながら、先行は総崩れで、
メンバー上位の上りを使えた馬が馬券を独占。

そして馬場の真ん中より外を通った馬が上位を独占。
完全に外差し馬場でございますな。

午後になれば多少は時計が早まるでしょうし、
上級条件、しかも G1となれば、それほど負荷がかかる馬場ではなく
昨年よりもちょっとだけ軽めの馬場になりそうですな。

これはもうコントレイルが勝ちますから、
馬券は単系で行くしかないでしょうなあ。

馬単 3→5, 7, 12, 13, 14

3連単40点

3連単→3, 5, 12, 13, 14→印全9頭

馬券の購入額に強弱をつけるなら、外の3頭を厚い目に。